

RI 第2820地区

# 水海道ロータリークラブ



谷空木 (たにうつぎ)



鬼怒川土手、からし菜とミツバチ

撮影者:石塚克己会員



夢をかたちに

2008-09年度 RI会長

李 東建

2008-09年度 会長テーマ

確かな絆で未来へ

VOL. 46 No.35 (通算No.2196)

5月13日(水)

2008 2009年度 会長 秋田 政夫 幹事 染谷 正美

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

# THE WEEKLY REPORT

## 2009年5月13日(水)例会プログラム

点鐘  
君が代・ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
米山奨学生紹介・報告  
地区協議会報告



## 表紙 花の説明

- 吸葛(すいかずら)科。
- 学名 Weigela hortensis  
Weigela : タニウツギ属  
hortensis : 園芸の、庭園栽培の
- 開花時期は、5/1頃～5/20頃。
- いろいろな種類がある。色はピンクの花が多い。
- 名前は全国各地でいろいろなものがあるらしい。代表的なものが「谷空木」。山の「谷間」に多く生え、茎の中が空洞の木であるところから「谷空木」。

例会報告 Vol.46 No.34 (No.2195) 4月22日(水)晴れ (司会 北村英明委員長)

## 本例会での主な事項

会長挨拶 秋田政夫会長

外部卓話

茨城県議会議員 五木田良一様

## ビジター

茨城県議会議員 五木田良一様

## 幹事報告 (染谷正美幹事)

週報受理クラブ 藤代RC、水戸RC、水戸西RC  
例会変更クラブ なし



## 委嘱状

米山奨学生カウンセラー 小島富雄会員



## 会長挨拶 秋田政夫会長

こんにちは。県議会議員、五木田良一先生にはお忙しい中おいでくださりまして有難うございます。ご歓迎を申し上げます。卓話をよろしくお願いいたします。

## THE WEEKLY REPORT



さて、先日11日、12日は土浦市民会館での2820地区大会へのご参加、ご苦労様でした。

本会議に先がけて行われました会長幹事会の報告をさせていただきます。

11日、午後1時半より廣瀬ガバナー挨拶で始まり、重田RI会長代理のご挨拶をいただき、続いて地区現況報告、地区資金報告をされたのですがプログラム時間の関係上概要のみの報告となりました。なお、本年度2月末における当地区の会員数は59クラブ2257名になり、期首会員数2217名に対して40名の増と報告されました。また、大会し

おりにも掲載されております大会決議案が発表され、各分区ガバナー補佐による分区現況報告、最後に再び重田RI会長代理から所感をいただき終了し、3時から1日目の大会本会議に入りました。

重田RI会長は挨拶の中で先ず、2820地区のアフリカへの奉仕活動であるマラリア予防のための防虫蚊帳の寄付について、あるいはロータリー財団による各奉仕活動に対しての感謝の念を述べられました。

また、一般的な会員の減少と例会出席率の低下現象について次のように語られました。「会員にとってクラブの魅力は何かを考えて欲しい。クラブの魅力とは、一つに現会員にとってクラブに対しての魅力を常に感じられるかどうか。また魅力的になるような努力をしているかどうか。」

もう一つは「地域社会に対してクラブとしての魅力があるのか。特に新会員入会に対してはたいへん重要である。」このように常にクラブ内外、両輪からクラブのあり方を捉えていくべきであると語られました。

そして、退会者は3年以内に退会することが多く見られ、すなわちロータリーの良さが分からないまま退会してしまう。そして、その退会者に暖かい友情を示すことが出来ないままに、また、クラブ会員はクラブの魅力の一つ語れること。常に新しい魅力の一つ付け加えていくことがクラブ運営にたいせつであると述べられました。

クラブ会員大勢出席されました2日目の本会議は如何だったでしょうか。お蔭様でクラブ表彰を受ける事ができました。

2007～2008年度のロータリー財団成績優秀賞地区内第3位、RI表彰をいただきました、2008～2009年度新マルチプル、ポールハリス認証5名による貢献クラブとして地区表彰をいただきました。

そして会員個人表彰として松坂興一会員、飯塚三夫会員が30年100パーセント出席会員として、また小島富雄会員が25年100パーセント出席会員として呼名紹介されました。記念講演は本年度RIテーマにふさわしい「アフリカの子どもたち」について全日本写真連盟会長、田沼武能先生が映像を使いながらのすばらしい講演となりました。

子どもの写真を撮り始めて50年、世界130カ国を回られたそうです。子ども人口18億人の中で80パーセントは発展途上国の子どもたちで、常に自然災害、人的災害「戦争」で犠牲となっており、子どもは生まれる条件の選択ができないために大人の犠牲になってしまう。子どもは社会の鏡であり、子どもを見ることで社会が分かる。と述べておられました。また、満足な教育が受けられないためにノーマルな社会が理解できない現状について、教育の重要性と戦争の無い平和な社会の大切さを切実に訴えられた講演内容でたいへん感動を覚えました。

### 外部卓話 茨城県議会議員 五木田良一様



五木田良一先生より、茨城県の県政について現況報告を頂きました。



# THE WEEKLY REPORT

## 出席報告 (青木清人副委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
51名	39名	12名	0名	12名	100.00%

ニコニコボックス(瀬戸隆海SAA)

入金計 ¥15,000 累計 ¥1,758,000

地区大会、お疲れ様でした。 染谷(正)会員  
少し良いことがありました。 青木(正)会員  
米山カウンセラーの委嘱状を頂きました。 小島会員  
地区大会欠席しました。 大串・五木田(裕)・石塚(利)・島田 各会員  
地区大会参加して来ました。長い一日でした。 染谷(秀)会員  
早退します。 白井会員  
休みが続きまして。 古矢会員

会報委員会 青木正弘委員長 上野博副委員長

## ロータリーの最も古い伝統

あなたが手にしている雑誌はロータリーの最も古い伝統の一つです。1911年1月に『The National Rotarian』と呼ばれる12ページの会報が出版されました。

### 世界中のロータリアンのアイデアを交換

そこにはクラブニュースや論説とともにポール・ハリスのエッセー「合理的ロータリアニズム」が掲載されていました。この新しい出版物について、ポール・ハリスは次のように書いています。

『The National Rotarian』の主な目的は、世界中のロータリアンたちのアイデアを交換するための手段を提供することであって、幹部たちに自らの見解を表明する機会を与えるものではありません。ここに書かれているメッセージは、単にスペースを埋めるためのものではありません。とはいうものの、私たちはそのページが、文字通り、ぜひ聞いてもらいたいと奮闘している、力強いロータリアンたちのアイデアで込み合う日が来ることを期待しているのです。今日、ロータリークラブの会員が200を超える国々と地域にまで及び、その出版物への要望は、これまで以上に、より複雑で、より活発になっています。旗艦雑誌である英語の雑誌『The Rotarian』は、アメリカ・イリノイ州エバンストンにある国際ロータリー(RI)世界本部で編集され、約50万部発行されています。世界各地では、このほかに31の雑誌が25の異なる言語で出版されているので、合計32の雑誌が、これらロータリー・ワールド・マガジン・プレスによって発行され、発行総数は約125万部にのびります。

### ロータリアンたちの優れた活動が必要

RI理事会は毎年4月を雑誌月間に指定しています。ロータリーの出版物が私たちのロータリー生活に果たしている役割、そして、私たちが出版物の中で果たさなければならない役割を認識するときです。ポール・ハリスが考え出したビジョンに従えば、編集スタッフだけで制作できるものではありません。ロータリアンたちの優れた活動が必要なのです。ロータリーの出版物を読んで、ほかのクラブがどんなことをしているかを知ることができる点が、一番優れていると私はいつも感じています。いずれの号のいずれの記事も、教えられ、そして発奮させられるチャンスなのです。

### 紙とインクの雑誌はいまだに重要

電子的なコミュニケーションがすっかり普及しているようにみえる時代でも、紙とインクの雑誌の役割は私たちの組織にとって、いまだに重要です。ほかのクラブや地区で起こっていることも、RI世界本部からの重要なニュースや最新事項と同様に、ロータリーの雑誌が知らせてくれます。RIのウェブサイト [www.rotary.org](http://www.rotary.org) をいつも見ている多くのロータリアンですら、毎号、何か新しいものを見いだせるはずです。

かつて、ポール・ハリスが彼自身のメッセージを書いたように、今日このメッセージを書き、そして、ロータリアンたちのすばらしいアイデアと活動で満たされた雑誌という出版物を、人生にもたらすというポール・ハリスのビジョンを目にするのは、大変光栄なことです。